

マヤ — 天の心、地の心 —

HEART OF SKY HEART OF EARTH

マヤ暦5125年の周期の終止符に —
古代マヤから私たちへのメッセージとは？

グローバリゼーションで地球の破壊が進むなか
危機に立ち向かう現代マヤ人を描いたドキュメンタリー



監督・脚本：フラウケ・ザンディッヒ、エリック・ブラック
撮影監督：エリック・ブラック 助監督：フロリーナ・メンドーサ
製作：アンブレラ・フィルムズ・プロダクション、ZDF/3SAT 共同製作
配給：ユナイテッドピープル (99分/2011年/ドイツ/スペイン語/カラー/16:9)

heart-of-sky.net

映画上映会を
開催します。

お問い合わせ先：
桃山学院大学
国際センター事務課

theatro
momoyama

日時：7月10日(金) 16時40分開始
会場：テアトロ桃山(桃山学院大学聖ヨハネホール)
※申込み不要・入場無料・どなた様もお越しください



世界が変わる体験がある。

桃山学院大学
St. Andrew's University

マヤ暦5125年の周期が終わり、新たな世紀が始まる。 グローバル化で地球の破壊が進むなか 危機に立ち向かう現代マヤ人を描いたドキュメンタリー

【第24回、アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭 オフィシャルセレクション】
【バンクーバー国際映画祭 2012 オフィシャルセレクション】



2012年12月21日、マヤ歴5125年のカレンダーの最終日に、私たちの運命は？

古代マヤ暦の偉大なカレンダーは2012年12月21日に終焉する。この壮大な物語はどのようにして終わりを迎えるのだろうか。海は荒れ狂うのだろうか。最後の木が切り落とされた時、天が落ちてくるのだろうか。私たちが今直面している問題にマヤ暦の終わりが、不思議にもタイミングが同期しているのはなぜだろうか。事実、すべての生命を宿している地球は、恐ろしい速度で破壊されつつある。

この現実を前に、私たちは無関心であり続けている。現代のマヤ人900万人が暮らすメキシコのチアパス州とグアテマラは、グローバル化によって翻弄されている。遺伝子組み換え作物、グローバル化、鉱山開発などにより、地球が破壊され、マヤ人たちの文化や生活環境が崩壊に瀕している。現代マヤ人に起きていることは、私たち自身が抱える問題の縮図ではないだろうか。



遺伝子
組み換え

モンサント

TPP



グローバリ
ゼーション

鉱山開発

環境破壊

現代マヤ人の問題は、「TPP」問題などを抱える私たち自身の問題ではないか——

『マヤ — 天の心、地の心 —』は、現代マヤ人が暮らすメキシコ南部とグアテマラの6人の若いマヤ人の伝統的で儀式的な日々と日常生活取材し、グローバル化に翻弄され、マヤの文化や環境破壊が進行するなか、それぞれがこの危機にどう立ち向かっているのかを浮き彫りにしていく。モンサント社による遺伝子組み換え作物の導入、多国籍企業による金鉱山の開発による水質汚染や環境破壊。これらの出演者たちの証言は、自然の織

細美とマヤの創世神話「ポボル・ヴフ」を描いた映像に織り交ぜられ、古代マヤと現代マヤを、時空を超えてつないでいく。森の奥深くにひっそりと佇むかつてのマヤ文明の偉大な遺跡群は、果たしてこれから我々自身に起こりうることの前兆なのだろうか。すべてが関連し、相互に繋がっている彼らの宇宙観は、私たち人類全体に、21世紀人類が抱える問題へのオルタナティブなアプローチを示唆しているのではない。



マヤ — 天の心、地の心 —

監督・脚本：フラウケ・ザンディッヒ、エリック・ブラック
撮影監督：エリック・ブラック 助監督：フロリーナ・メンドーサ
製作：アンブレラ・フィルムズ・プロダクション、ZDF/3SAT 共同製作
配給：ユナイテッドピープル (99分/2011年/ドイツ/スペイン語/カラー/16:9)

heart-of-sky.net



自主上映者募集中！ 学校で、オフィスで、カフェで、公民館で上映会をしてみませんか？ お問い合わせは film@unitedpeople.jp

日時：7月10日(金) 16時40分開始
会場：テアトロ桃山(桃山学院大学聖ヨハネホール)

